



安心・安全を基本に、 学園都市・元気都市を目指すまち

当消防組合は、枚方^{ひらかた}・寝屋川両市を構成市として組織されています。

枚方市は、大阪市と京都市のほぼ中間にあって、古くから交通の要所として発展し、江戸時代には大坂、京都を結ぶ京街道の宿場町として栄えました。近代になると近郊農村から住宅のまちへ徐々に変ぼうを遂げ、戦後は大規模な住宅団地の開発により人口は急増しました。また近年、市内に6つの大学が所在し、21世紀の新たなまちのイメージとして「学園都市」を目指しています。



枚方宿鍵屋（枚方市）

寝屋川市は枚方市の南側、大阪市寄りにあります。当市の歴史も古く、市域の丘陵部には旧石器時代の遺跡や文化財が点在し、室町時代の民話「鉢かづき姫」の発祥



石宝殿古墳（寝屋川市）

の地とされています。戦後の経済発展とともに都市化が進みましたが、現在でも自治会、子ども会活動などが活発で、市民と市が協働した

まちづくり「元気都市・ねやがわ」を推進しています。

当消防組合は、昭和23年消防組織法の制定に伴い、枚方市外3か町消防本部として発足、その後、昭和26年に3か町の一つであった寝屋川町が、他町村と合併して寝

大阪府 枚方寝屋川消防組合消防本部



大阪府 枚方寝屋川消防組合
消防本部
消防長 榎本 志郎

屋川市となったことから、名称を枚方寝屋川消防組合と改めました。管轄人口は約65万5,000人（枚方市約41万人、寝屋川市約24万5,000人）、管轄面積は約90km²（枚方市65km²、寝屋川市25km²）です。そのうち約87%は市街地で、地形的には東西約10.7km、南北約17.7kmと南北にやや長く、西側の他市との境界線に沿って一級河川の淀川が大阪湾に向かって流れています。

当消防組合は、管内に3署16出張所を配置し、700人の消防職員で市民の生命・財産を守っています。しかし、高齢化の進展や、都市構造の変化に伴い、災害の形態も複雑多様化し被害の拡大が懸念されるので、将来構想計画（16年度～20年度）を策定し、市民の視点に立った効率的、効果的な行財政運営に努めながら、安心して暮らせる、安全なまちづくりに取り組んでいます。



組合消防本部（枚方市）

おわりに

現在、全国的に展開されている消防・救急無線のデジタル化・共同化及び消防の広域化の推進に迅速かつ効果的に対応できるように、また地域住民の安心・安全の更なる確保に向け、構成両市の消防団、自主防災組織ならびに国民保護担当部局と連携を図りながら、組合消防としての責務を全うし、より効果的な消防体制の実現に向けて、消防業務に邁進してまいります。